



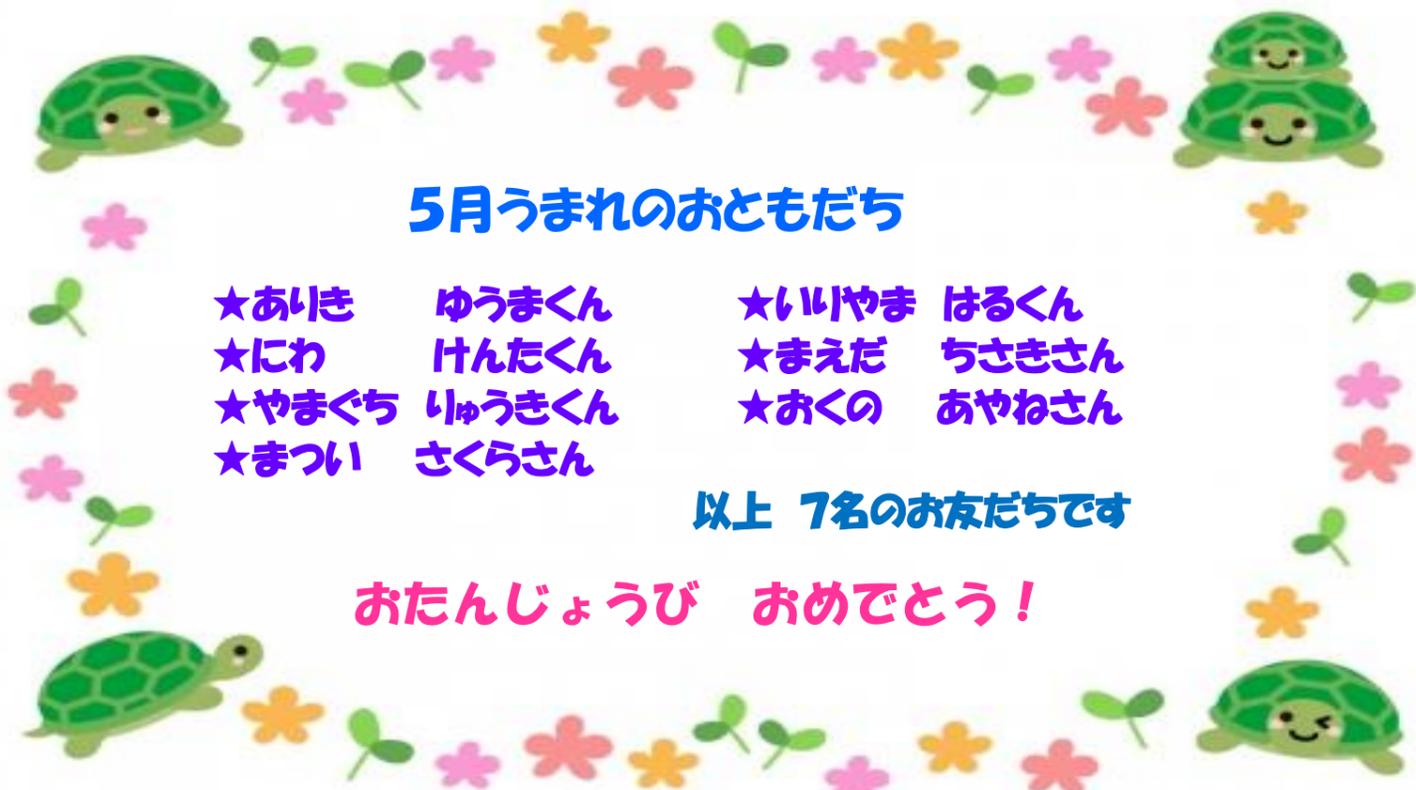
平成30年 5月号 No.108

二島小学校放課後児童クラブ
担当 土森 朱美
森崎 智大

TEL 072-883-0122



新年度が始まり、一カ月が過ぎました。
慣れない環境に周囲を伺っていたお友だちも、興味津々で色々なおもちゃを使って遊ぶようになりました。また、お友だち同士で楽しそうに活動し、一緒に遊ぶグループがつけられ始めています。
今後お誕生日会等の行事を通して、学年関係なく交流を深めて欲しいと思います。
ご家庭でも何か変わったことやお相談がありましたら、いつでもお知らせ下さい。よろしくお祈りいたします。



5月うまれのおともだち

★あいき	ゆうまくん	★いいやま	はるくん
★にわ	けんたくん	★まえだ	ちさきさん
★やまぐち	りゅうきくん	★おくの	あやねさん
★まつい	さくらさん		

以上 7名のお友だちです

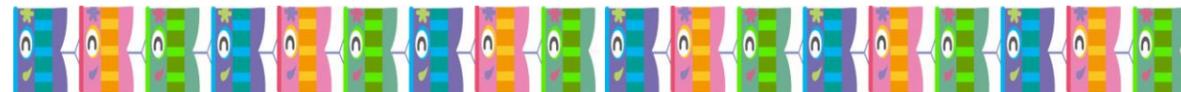
おたんじょうび おめでとう!

< 5月の目標 >

★つかったおもちゃや本を上手に片付けよう!

★下級生に対して優しく丁寧に教えてあげよう!

★お片付けのとき、「だれが使っていたかわからないおもちゃ」がよくみられます。また、本も色々な向きで置かれていたり、床に置かれている様子も見られます。お片付けの際に丁寧に声かけして、ひとつひとつお片付けが出来るようにしたいと思います。
★進級による環境の変化で成長を見せる上級生たちですが、その分下級生のルール違反が気になる様子です。もっと気持ちにゆとりを持って、一年生に接することができるように一緒に心がけていきたいです。



《 5月の行事予定 》

5月 9日(水) 避難訓練(地震)

5月 23日(水) 4・5月生れの誕生会

季節の壁面作り(自由参加)



《 おねがい 》

勤務先が変わった時は、緊急時に連絡する関係上**早めに**児童クラブにお知らせ下さいませようお願いいたします。

《お知らせ》

- ・筆記用具やハンカチ、靴下等の持ち物には名前を書くようお願い致します。特に鉛筆等は友達のものや混ざった場合分かりづらいので、必ず一本一本名前を書いて下さいますよう、ご協力をお願い致します。
- ・段々と気温が高くなる今日この頃。それにつれ野外活動後の水分補給は必要不可欠となっていきますので、水筒を持参するようお願い致します。



4月の行事報告



《春休みの遊び》

暖かな日差しの中、サッカーや様々な種類の鬼ごっこ、うんていやすべり台等の遊具を楽しみながら、子ども達は元気に体を動かして遊びました。校庭に咲く桜の木の下でも、競い合って花びらをたくさん拾いました。見せあったり、ままごとの材料にして遊んでいました。

桜の花びらが舞い散るのを見ながらのお花見弁当も、とても美味しく感じました。



《避難訓練・火事》 4月 19日(木)

今年度初めての避難訓練なので、1年生に分かりやすいように避難する時の心構えをクイズ形式にして話しました。「お・は・し・も」は **お**さない・**は**しらない・**し**ゃべらない・**も**どらない、と避難時に慎重な行動を促すものです。いざという時に焦らず、冷静に行動・判断ができるようにしていきたいと思います。

《新入生歓迎会》 4月 25日(水)

新入生歓迎会では、1年生のお友だちにクリアファイルをプレゼントしました。プレゼントを入れた封筒に、2年生以上の子ども達がどんなお友だちが来るのかと楽しみにしながら、イラストや歓迎の言葉を書いてくれました。その後はおやつとカルピスを美味しくいただきました。



～花粉症について～

花粉症は一つの病気にあらず!?

花粉症は他の病気も引き起こす可能性があります。花粉が飛散する季節になるとよく見られるくしゃみや鼻水が止まらないおなじみの現象。一般的には花粉症と呼ばれているが、医学的には「季節性アレルギー性鼻炎」に分類されます。ひとつの病気としてとらえられることが多いが、複数の症状が見られる場合、厳格にはいくつかの病気が合わさっている。「季節性アレルギー性鼻炎と、それに伴う合併症状が起きている状態」だと考えると分かりやすいです。

こんな合併症を引き起こしているかも?

- 慢性副鼻腔炎
【主な症状】鼻水 鼻づまり 頭痛
- 気管支喘息
【主な症状】咳 痰
- アレルギー性結膜炎
【主な症状】目のかゆみ 充血 涙目



5月～6月にかけての花粉症の原因や種類は?

2月～4月のスギ花粉と同様、5月～6月の花粉症でも鼻水や鼻づまり、くしゃみ、目の痒みなどが主な症状と言えます。しかし、シラカバ花粉が原因の花粉症の患者の何割かは、りんごやいちご、柿、プラム、メロン、梨、桃などの果物を食べると口の中が痒くなる果物過敏症を発症すると言われています。また、カモガヤなどのイネ科の植物が原因の花粉症の場合は、花粉の飛散時期が比較的長くどこにでも生えているため、症状が長期に渡って出やすいという面があります。さらに、イネ科の植物が原因の花粉症の場合は、咳がなかなか治まらずにそのまま花粉喘息になってしまうケースもあるため、注意が必要です。

花粉症への対策

一言で花粉症といっても、上記で述べた合併症を含め、症状は人それぞれ。せっかく病院で診てもらっても、症状をしっかりと伝えない限り、先生も手の施しようがありません。時には花粉症だと思っても、似た症状の別の病気が隠れている可能性もあります。「まあいつもの症状かな?」「言わなくても大丈夫だろう」などと自分で判断せず、症状や悩みは全て先生に伝えるようにしたいですね。